

ひまわりだより

NO.199

2014年12月



巾上ひまわり薬局 松本市巾上10-5 TEL 0263-35-4441
FAX 0263-37-5561
塩尻ひまわり薬局 塩尻市長畝230-3 TEL 0263-51-5311
FAX 0263-51-5322

定休日 日曜・祝日

寒さが本格的になってきました。今年ももうすぐ終わり、一年があっという間だった気がします。何かやり残したことがあれば早めにやっておきましょう。

今回は甲状腺のことについてお話しします。



甲状腺

甲状腺とは、体の新陳代謝を促進するホルモンを出すところです。のどぼとけの少し下、蝶々のような形をしていて気管を包むような状態である臓器になります。食物中のヨードを使って甲状腺の中で甲状腺ホルモンを2種類作っています。

甲状腺ホルモン

甲状腺ホルモンは、ヨードを3つ含むトリヨードサイロニン（トリヨードチロニン、略名：T3）とヨードを4つ含むサイロキシニン（チロキシニン、略名：T4）と呼ばれる2種類。T3のほうがT4の4倍も強い働きをします。甲状腺ホルモンは新

陳代謝を活発にする働きがあり、精神や身体の調整に関わっているホルモンのため欠かすことができません。ホルモン量は、脳下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン（TSH）によって調節されており、T3・T4とTSHはシーソーのようにお互いでバランスを取り合っています。まれに脳下垂体の病気によっては両方のホルモンが減る場合があります。

日本では、新生児で不足すると発育・成長が遅くなってしまいうクレチン症という先天性疾患を引き起こす原因になってしまいうため新生児検査の項目に甲状腺刺激ホルモンも入っています。

病気の分類

- ・ホルモンのバランスが崩れた機能障害
（甲状腺機能亢進症や甲状腺機能低下症）
- ・甲状腺腫

の2種類に分かれます。

●甲状腺機能亢進症（バセドウ病とも呼ばれる）

甲状腺ホルモンが分泌され過ぎることにより働きが強くなる病気です。原因は、甲状腺ホルモン受容体に甲状腺刺激ホルモン（TSH）と類似したたんぱく質が受容体を刺激して甲状腺ホルモンを分泌させ過剰にさせてしまったものがほとんどです。症状としては甲状腺が腫れる、頻脈、手指のふるえ、汗をかきやすい、食べるのに痩せる、イライラする、疲れやすい、眼球突出などがあります。多くの場合は甲状腺が腫れて大きくなりますが、必ずしも腫れの程度と病状は一致しません。

治療は、3種類あります。

①内服治療：甲状腺の働きを抑える薬の服用。ホルモンのバランスを見て薬の量を増減し数年以上は続ける必要があります。例：メルカゾール®、チウラジール®

②外科治療：腫れた甲状腺を手術で切って小さくする。手術前にホルモンバランスを内服薬で整えてから行います。術後も機能低下が起こることがあるので内服が必要になってくる場合があります。

③放射線ヨード内服：放射性ヨードを内服し、甲状腺に取り込まれ放射線で焼いて機能を抑えます。妊娠の可能性のある女性には行えず、放射線科のある大きな病院でしか行えません。海外ではよく行われる治療ですが放射能は日本人にはあまり好まれない治療です。

●甲状腺機能低下症（橋本病とも呼ばれる）

甲状腺ホルモンが不足して起こる病気です。原因は、はっきりわからずに甲状腺の機能低下が起きてしまう場合（原発性）と慢性甲状腺炎（橋本病）によるものがほとんどです。その他には脳下垂体が原因となることもあります。症状としては新陳代謝が衰えるためコレステロール値が高くなることが多く、また身体症状としては寒がり、元気がない（うつっぽい）、むくみやすい、疲れやすい、動悸、便秘、声が嗄れる、脱毛などがあります。

治療は、内服治療。例：チラーヂンS®。不足している甲状腺ホルモンを摂取することで状態を改善させます。ホルモンの

バランスを見ながら加減しほぼ一生継続服用していきます。
また注意しなければならないことがあります。甲状腺ホルモンの原料となるヨードを摂り過ぎることです。摂り過ぎるとホルモンの量が増えて機能亢進になりそうなものですが、体がバランスを取ろうとするため逆にホルモン量を抑えて機能低下を起こしてしまうことがあります。抑えられても通常は徐々に元に戻りますが、機能低下症の方ではそのまま低下した状態が続き病状を悪化させてしまう場合があります。

●腺腫

腺腫には全体が腫れる「びまん性甲状腺腫」や一部分がしこりになる「結節性甲状腺腫」があります。結節性のほうに良性腫瘍、^{のうほう}嚢胞（水袋）、癌などが含まれます。

治療は、良性腫瘍や嚢胞であれば基本的には経過観察や甲状腺の薬での治療、嚢胞内の水の除去、しこりや腫れが気になれば手術を行います。癌だった場合は基本的に手術して摘出します。甲状腺の癌は進行が遅いため術後生存率が極めて高い癌とも言われています。

意外に甲状腺の病気は患者数が多いにもかかわらず明確な症状がなく、また症状が軽いこともあり見逃すことや放置してしまうことが多い病気です。簡単な検査で発見できるので気になる方は検査してみましょう。

